

## 新しい中世 第9章・10章・補章の要約

### 1. 第9章「アジア・太平洋」

- ・3つの問題群
  - ①東アジアにおける主権国家体制への移行の不完全性に由来する問題群  
(ex)南沙群島や西沙群島などの南シナ海の島々や、尖閣諸島などをめぐる領土問題
  - ②第二次世界大戦前後の歴史に由来する問題群  
(ex)中国の分裂や朝鮮半島の分断
  - ③アジア・太平洋地域の将来に由来する問題群  
(ex)①、②に関連する軍拡競争の危険
- ・アジア・太平洋地域における「近代的」な3つの構造的傾向
  - ①「多極化」の影響
  - ②政治体制の混在
  - ③覇権交代の可能性
- ・アジア・太平洋地域における「新しい中世」への動きを促進する3つの構造的傾向
  - ①経済相互依存の進展、情報化の爆発
  - ②多角的制度化の動き
  - ③近代の底の薄さ

### 2. 第10章「日本は何をすべきか」

- ・「新しい中世」における国家の役割
  - ① 社会契約 VS ナショナリズム
  - ② 領域
- ・日本の役割
  - ① 対第一圏域政策(北米、EU、オーストラリア)＝自由の維持・拡大、安全の維持
    - i. 日米安全保障条約
    - ii. 日本の利益
    - iii. 自由貿易の推進、国際金融の安定
    - iv. 第三圏域支援
  - ② 対第二圏域政策(中国、ロシア、ASEAN)＝軍事的不安定の防止、経済ダイナミズムの維持
    - i. 国民の安全と自由の確保のための勢力均衡
    - ii. 多国間協議による「新しい中世」への移行促進
    - iii. 大量破壊兵器の拡散防止
    - iv. 中東や南アジアの情報分析
    - v. 日ロ関係の改善
  - ③ 対第三圏域政策(アフリカ、中央アジア)＝無視・隔離をしない、試行錯誤の繰り返し
    - i. PKO への積極的参加
    - ii. 経済援助、人的協力の拡大

### 3. 補章「九・一一事件後の世界を読む」

- ・9・11 事件が証明した「新しい中世」
  - ① テロの非近代性
  - ② 超近代的対応の必要
  - ③ 内外無差別性
- ・イラクと北朝鮮が証明した「近代」と「新しい中世」の併存
  - ① 「近代」の国際政治の有効性の証明
  - ② 「新しい中世」における大量破壊兵器の拡散

### 4. 田中明彦的「新しい中世」から+ $\alpha$ を考える

- ・「近代」と「新しい中世」の併存の固定化
- ・「新しい中世」から「近代」への再移行
- ・非国家主体への対応

#### 【参考文献】

田中 明彦『新しい「中世」』日本経済新聞社（日経ビジネス人文庫） 2003年